

令和8年度 丹波篠山市立篠山小学校 学習や生活に関する学力向上プラン

丹波篠山市学力・学習状況調査（以下「市調査」）及び全国学力・学習状況調査（以下「全国調査」）は、児童の学力や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的として実施しています。本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であることや学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえつつ、「学習や生活に関する学力向上プラン」を授業改善等に生かしていきます。今後とも、ご家庭と連携しながら学力向上に向けて取り組んでいきたいと思います。よろしくお願いいたします。

【調査結果の概要・課題と対応】

篠山小学校全体の結果について

6年生対象に行われた全国学力・学習状況調査（国・算）、5年生対象に行われた丹波篠山市学力状況調査（国・算）では、学年や教科や単元によって、標準値を上回る結果や標準値に値する結果、下回る結果が出ており、得意分野と不得意分野の差が見られました。

〈国語科〉 語彙力をつけ、自分の考えをもち、文章にまとめる力を育てます

指定された条件を満たして文章を書く問題に課題がありました。条件つき作文の練習や段落構成を意識して作文を書く等の活動に取り組んでいきます。また、複数の情報を比較したり関連付けたりして考える問題に課題がありました。複数の資料を正確に読み取り、自らの意見を持って交流する学習に、国語科だけでなく他教科と横断的に取り組んでいきます。基礎基本である語彙力をつける掲示物の工夫をしたり、漢字を習得したり文法理解を進めるために、反復練習を意図的に取り入れていき、知識の定着を図ります。

〈算数科〉 基礎基本的な計算力をつけ、問題を丁寧に読み取り、題意を理解する力を育てます

コンパスを使った作図や求積など、既習事項の定着に課題がありました。授業中や宿題等で繰り返し復習し、解き方を定着させるよう取り組んでいきます。また学習課題について問題文を読み解くことに課題が見られました。長文を読み解き、題意を正しく把握すれば解ける問題の無回答が見られることから、問題が何を問っているかを正しく読み解き、立式した理由など自分の考えを図や言葉で説明する活動を通して自分で課題を解決する力をつけていきます。

〈学習生活習慣について〉

学校全体として、目標意識をもって自分の目標に励もうとする意識が高く、将来の夢や好きな教科など、各々が在りたい自分像を描いて生活している児童が多くいると思われます。自分の意見を積極的に発信する力やグループで話し合うことに楽しさを感じている傾向が見られます。それぞれの学年で引き続き対話を取り入れたり自分の考えをハンドサインで示したりといった学習活動を進めていきます。一方で、高学年になるにつれて就寝時刻が遅い児童や、自主的に学ぼうとする学習習慣がついていない児童が増加しています。生活習慣の見直しを呼び掛けたり、自主学習の取り組みを進めたりと、ご家庭と手を携え今後も子どもたちの生活を見つめていく取組を継続していきたいと思います。

学習指導要領には「学びに向かう力、人間性など」「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力など」の3つの力をバランスよく育むことが理念とされています。これからの変化の激しい時代を生きる子ども達です。「何を学ぶか」ではなく「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」を大切に、ご家庭、地域の皆様とも連携して、子ども達の自分らしい成長に向けて取り組んでいきたいと思います。よろしくお願いいたします。



